

2015年度環境活動「1日エコライフチャレンジ」報告

二酸化炭素（CO₂）をなるべく出さないくらしは地球温暖化防止につながり、余計な電気を使わない生活が、原子力発電に頼らない未来につながります。そのためには小さな工夫を1日1日続けることが大切です。

2015年度はガスや電気の使用量の多い冬に日本生協連の1日エコライフチャレンジシートを参考に組合員活動情報誌ウォオで「1日エコライフチャレンジ」に取り組みました。

家庭でできる省エネを実行することで、普段のくらしを見直すきっかけとなり、たくさんの感想とエコアイデアが寄せられました。

取組み期間：12月14日～2月5日

取組み結果：108家族（347人）

CO₂削減量：212,957g

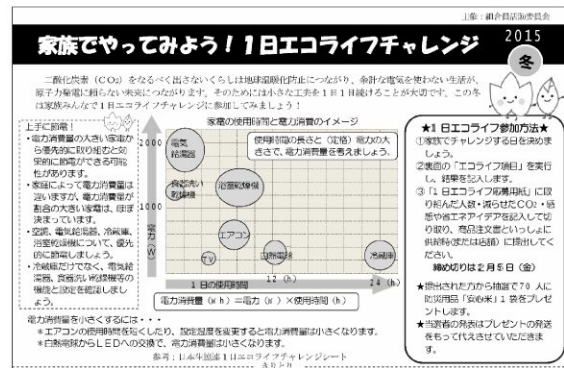
エコライフ項目

1	暖房の温度設定を20度以下にした
2	こたつの温度設定を低めにした
3	電気ポットでの保温を止め、使うたびに沸かした。
4	お風呂は間を開けずに家族が続けて入った
5	テレビはつけっぱなしにせず、見ていないときは消した
6	部屋を出る時は明かりを消した。
7	自動車を使わず、徒歩や自転車で移動した
8	買い物にマイバッグを持参し、レジ袋はもらわなかった

応募者104人から、抽選で70人に「安心米」を送りました。賞味期限は5年と長期保存できます。非常食だけでなく、登山やキャンプなどのアウトドアにも便利です。



感想からは、楽しみながら取り組んだ様子が伺われます。一人ずつの削減は少なくとも毎日多くの方が心がければ大きな削減につながります。日常的な省エネに取り組みましょう。



感想

- *子ども（3歳）とゲーム感覚で取り組み、エコライフについて教えてあげられてよかったです。寒い日でも外遊びで体を温めました！
- *普段からやっていることが多くて、日頃から省エネできるんだなって思ってたうれしくなりました。
- *ほんの少しの取り組みで思いの外、余計な電気を使わずにすみました。このまま続けていきたいです。

エコアイデア

- *昔からですが湯たんぽを使います。使用済みの湯（水）は洗濯などに使います。
- *断熱カーテンを窓ガラスと玄関で使用しています。こたつの下にも保温シートを使っています。暖かい衣類を着込んで過ごしています。
- *暖房便座は不要、カバーだけでOKです。
- *お風呂のフタになかぶたすると冷めにくいと他の人にも効果を伝えました。
- *電気ポットを使わず保温のみの魔法びんを使う。
- *掃除機を使わずホウキや雑巾で掃除する。
- *暖房の部屋で家族一緒に過ごす。